

京都府市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名：京田辺市

1. 平成28年度 市町村体制づくりの取組について【総括表】

計画の概要等	背景	本市では、次の世代へ誇りを持って継承できるまちづくりに向けて、第3次京田辺市総合計画「まちづくりプラン」に掲げる「安全・安心」、「緑」、「健康」、「文化・教育」、「田園都市」の5つの重点プロジェクトを中心に、各種施策に取り組んでいる。 また、まち・ひと・しごと創生法に基づく「京田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略（人口ビジョン・総合戦略）」（以下、「京田辺市総合戦略」という。）により、少子減少対策や地域経済活性化事業などに取り組み、将来にわたり活力あるまちを目指している。		
	必要性	北部地域や南部地域における大規模な住宅地開発により人口増加が続くとともに、新たな国土軸となる「新名神高速道路」の城陽・八幡京田辺間が開通し、さらには北陸新幹線の京都・大阪間について、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームにおいて、本市（松井山手）付近を経由する京都府南部ルートが適切であるとされる一方、多様化する住民ニーズに応えつつ、将来的な財政的負担に備えるため、新たな財源の確保、歳出の削減に努める必要がある。		
	概要	まちづくりプランや京田辺市総合戦略に掲げた施策を着実に推進するため、平成28年度から平成32年度までの5年間を計画期間として、「京田辺市新行政改革プラン」を策定し、本市を取り巻く課題に対応しつつ、「市民と行政とのパートナーシップの構築」、「より質の高い行政サービスの提供」、「効率的な行財政運営」の3つの項目に取り組む。		
	効果	「京田辺市新行政改革プラン」の初年度である平成28年度において、「市民と行政とのパートナーシップの構築」の分野では、住民による避難所運営訓練の実施や高齢者による介護や子育ての分野での地域貢献の実施等、住民によるまちづくりが推進され、「より質の高い行政サービスの提供」の分野では、受益者負担の見直しの一環として粗大ごみの有料化を実施し、サービスの公平性を確保するとともに、「効率的な行財政運営」においては、各種手当等の見直しや賦課徴収経費の削減の実施により、歳出の削減に努めた。		
事業実施による効果について				
事業分類	事業名・実施項目	取組実績の概要	主な実績数値（出来高数値等）	事業効果（単位：人・千円等）
広域連携事業支援	ごみ処理施設整備事業	一部事務組合（枚方京田辺環境施設組合）を設立した。	<ul style="list-style-type: none"> 敷地造成基本設計業務に取り組んだ。 一部事務組合（枚方京田辺環境施設組合）を設立した。 一部事務組合による環境影響評価業務（配慮書手続）に取り組んだ。 	本市が単独で同等のごみ処理施設を建設する場合の全体事業費と比較し、大幅な歳出抑制が出来る見込である。

（記載要領）

- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 「主な実績数値（出来高数値等）」、「事業効果」については、出来るかぎり数値化した客観的な指標を記載すること。